

SSEVIIRI Eliya さん(自然科学研究科材料生産システム専攻・博士前期課程 1 年)が公益社団法人化学工学会・第 55 回秋季大会の分離プロセス部会で優秀発表賞(分離プロセス部会ポスター賞)を受賞しました。

令和 6 年 9 月 11 日から 9 月 13 日にかけて北海道大学(北海道札幌市)にて開催された公益社団法人化学工学会第 55 回秋季学会において、自然科学研究科材料生産システム専攻素材生産科学コース・博士前期課程 1 年の SSEVIIRI Eliya さんが分離プロセス部会ポスターセッションにてポスター賞を受賞しました。

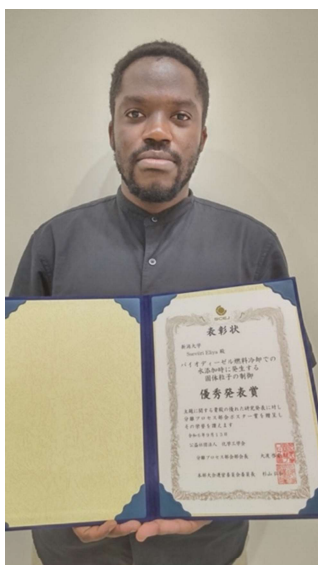
本研究は、軽油代替燃料であるバイオディーゼル燃料の新しい冷却分離精製法開発のための基礎研究として水を添加した際の固体粒子発生挙動・燃料組成変化挙動を明らかにする目的で行われ、成果として、水添加量や界面活性剤添加量によって球状粒子生成制御が可能であること、および発生固体がろ過しやすくなることによって成分分離が容易にできる可能性があること、その結果低温流動性向上に有効な分離法になりうることがわかりました。これらの成果はバイオディーゼル燃料のさらなる利用、カーボンニュートラルや未利用エネルギーの活用などへの施策に有効と考えられます。本成果を化学工学会秋季大会にて「バイオディーゼル燃料冷却での水添加時に発生する固体粒子の制御」と題して発表し、発表内容や発表者プレゼンテーションが評価されました。

指導教員：自然科学系(工学部) 多島秀男 准教授

関連学会や研究内容 URL

<https://www4.scej.org/meeting/55f/>

<https://scej-sep.org/separation/>



写真は本人と賞状